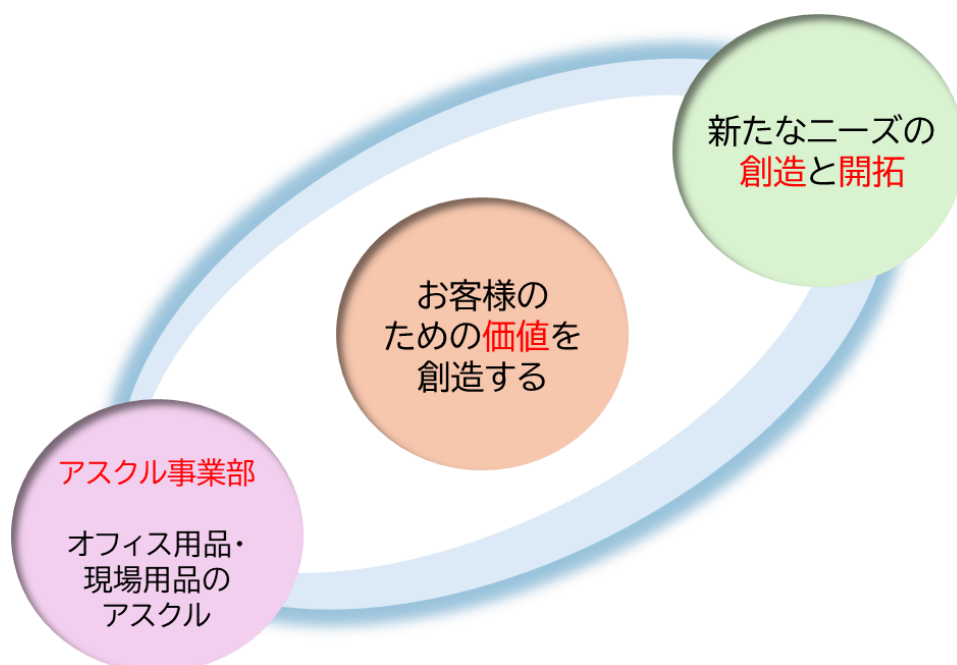


株式会社 田中文栄堂

2023 年度 環境経営レポート

事業年度：2023 年 8 月～2024 年 7 月



発行 2024 年 8 月 31 日



株式会社 田中文栄堂

弊社は大正 10 年創業以来、文房具・事務用品の販売を通じて「お客様のための価値を創造する」を経営理念に発展してまいりました。21 世紀に入り企業を取り巻く環境の変化は加速度を増し、またネット社会を迎えて新しいマーケットを創造するため従来の店舗販売専門から通販事業へと軸足を移してまいりました。

フロンティアスピリットの精神で「オリジナル」をキーワードに、新しいマーケットを創造するため常に独自の新規事業を立ち上げる努力を続けています。「何よりもお客様を大切に」を行動指針として、一流の商品と本物のサービスを提供することに挑戦しています。

人材の育成についても、目標と危機感を共有し環境変化に適応するための＜戦略の立案＞を第一義に「自ら考え、自ら企画し、自ら実行できる人材」の要請をモットーにしています。また、雇われて働こう、と考えている人ではなく、経営者を目指す人に育って欲しいと願っています。

激変する時代の流れの中で、企業理念を基礎にして社会貢献を果たすため高い理想と志を掲げた企業としての発展を目指しています。社会とお客様に喜ばれ、必要とされる企業を目標に＜最大の努力＞をする所存であります。

今後ともより一層皆様のご指導ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

環 境 経 営 方 針

株式会社田中文栄堂は、地域社会の一員として環境保全が重要課題であることを踏まえ、エコアクション 21 の認証取得を通じて、すべての事業活動において自主的・積極的に環境保全活動に取り組む事により、環境との共生・調和に努めます。

当社の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 脱地球温暖化社会のための省エネルギーに努めます。
 - ② 循環型社会の構築に向けて、廃棄物の排出抑制に努めます。
 - ③ 事業所内の水使用量の削減に努めます。
 - ④ 環境配慮製品の販売に努めます。
 - ⑤ 社員教育を通して、より良い職場環境づくりに努めます。
3. 当社の社員全員にこの環境方針を周知するとともに社外にも公開します。

2007 年 12 月 21 日（制定日）

2019 年 9 月 20 日（改訂日）

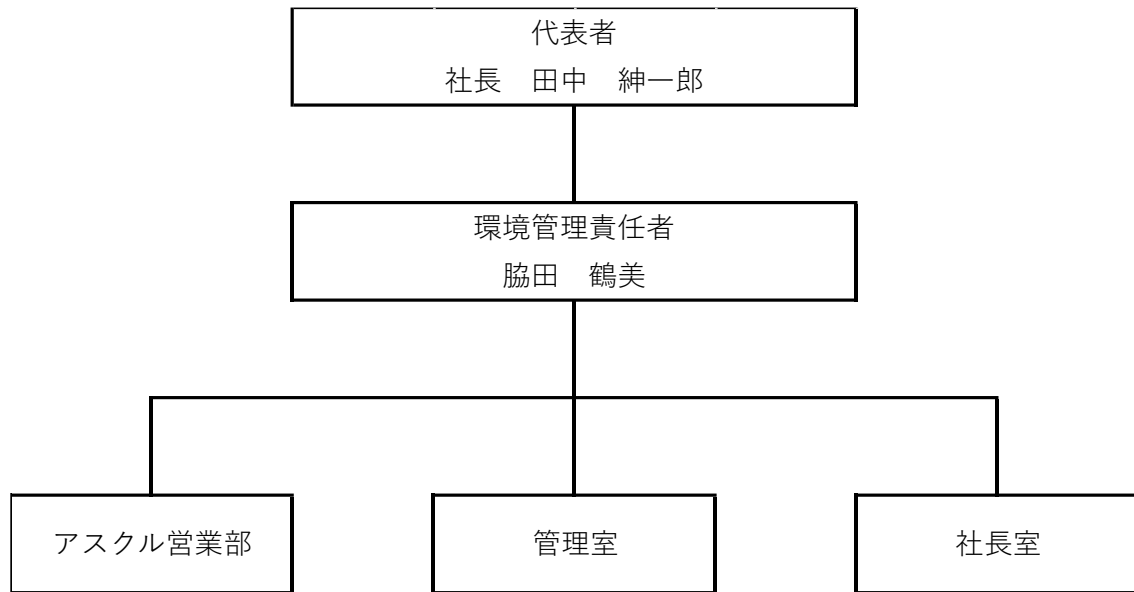
代表取締役

田中 紳一郎

□登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社 田中文栄堂
代表取締役 田中 紳一郎
- (2) 所在地
〒544-0023 大阪市生野区林寺 3-1-6
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
アスクル営業部 脇田 鶴美
連絡先 06-6731-0515
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）
文具事務用品・オフィス用品の販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 17.7 億円／年（2022 年度実績）
従業員 7 名
延べ床面積 165 m²
- (6) 事業年度 会計年度 8 月～翌年 7 月

株 式 会 社 田 中 文 栄 堂 環 境 経 営 シ ス テ ム 組 織 図



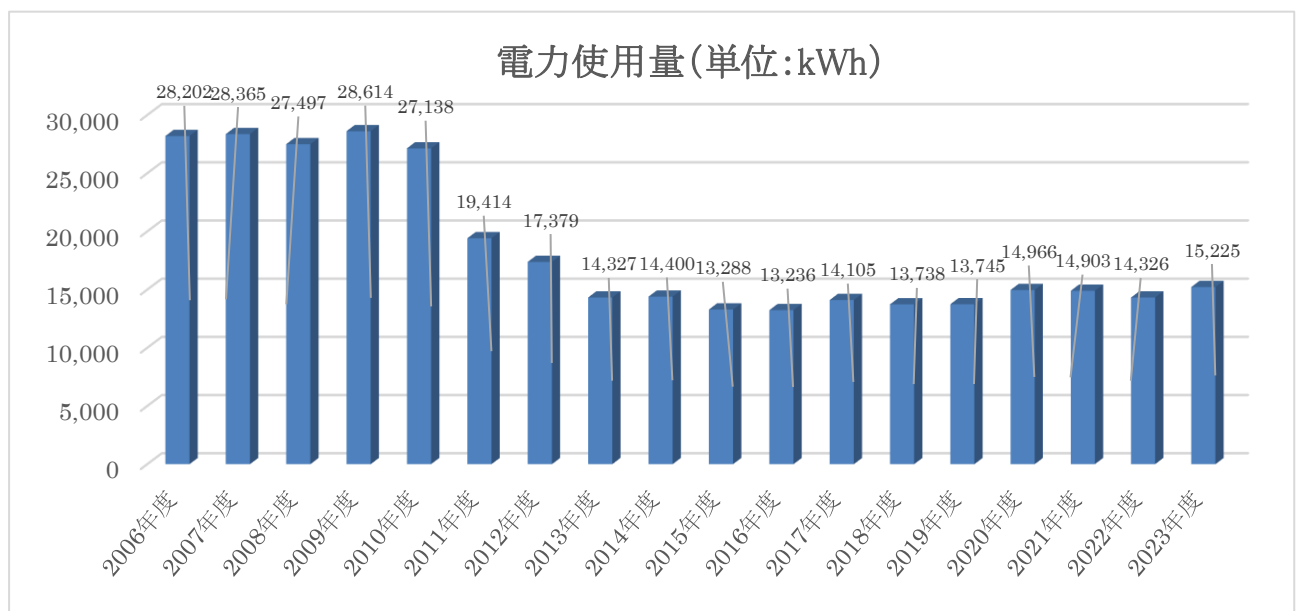
	役割・責任・権限
代表者（社長） 田中紳一郎	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 脇田鶴美	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿の取りまとめ・順守評価 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画書の作成 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・各部門における環境経営システム実施の指示 ・各部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・各部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施及び記録
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

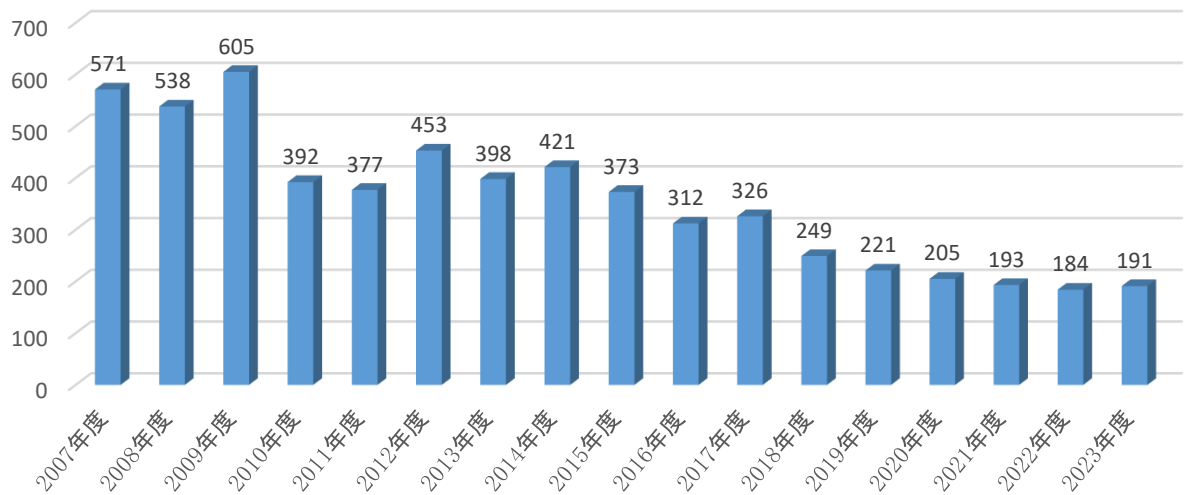
項目	単位	基準年度 (2006年)	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
電力使用量	kWh/年	28,202	17,379	14,327	14,400	13,288	13,236	14,105	13,738	13,745	14,966	14,903	14,326	15,225
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	8,771	5,804	4,785	4,809	4,438	4,420	4,711	4,588	4,590	4,999	4,978	4,785	4,735
廃棄物排出量	kg/年	650	453	398	421	373	312	326	249	221	205	193	184	191
一般廃棄物排出量	kg/年	650	453	398	421	373	312	326	249	221	205	193	184	191
産業廃棄物排出量	kg/年	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
総排水量	m ³ /年	248	155	128	129	145	98	85	79	78	83	80	71	75

電力の CO2 排出係数は、0.311kg-CO₂/kWh（関西電力の調整後排出係数（2021 年度実績）

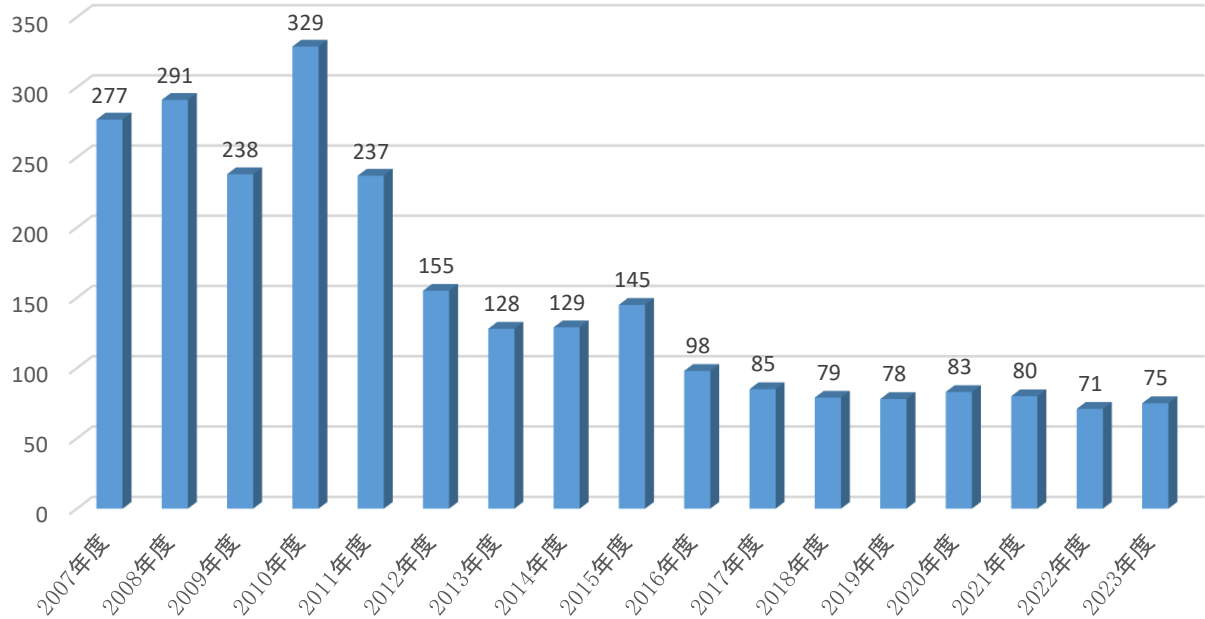
※2021 年度一部事業譲渡の為、営業車廃止。実績より削除。



一般廃棄物排出量(単位:kg)



総排水量(単位:m³)



※社長宅工事の為 2024 年 7 月中旬より会社 2F へ転居。

工事完了まで会社と社長宅分使用量が合算となり電気、水道使用量、一般廃棄物が増加する。

□環境目標及びその実績

※電力のCO₂排出係数を、0.311kg-CO₂/kWh（関西電力の調整後排出係数 2021 年度実績）へ 2023 年度より変更に伴い基準年度数値を変更しています。

※環境配慮製品の販売目標額については、営業部の一部事業譲渡などにより 2022 年度から販売目標額を見直ししています。

項目	年度	基準年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年	2025年
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	8,771 (2006年)	4,588 (51.2% ↓)	4,591 (51.2% ↓)	4,999 (46.9% ↓)	4,978 (47.1% ↓)	4,785 (49.0% ↓)	4,473 (49.0% ↓)	4,735 (46.0% ↓)	4,385 (50.0% ↓)	4,297 (51.0% ↓)
一般廃棄物の削減	kg/年	650 (2006年)	249 (61.6% ↓)	221 (66.0% ↓)	205 (68.4% ↓)	193 (70.3% ↓)	184 (71.7% ↓)	182 (72.0% ↓)	191 (70.6% ↓)	176 (72.9% ↓)	169 (74.0% ↓)
節水	m ³ /年	248 (2006年)	79 (68.1% ↓)	78 (68.5% ↓)	83 (66.5% ↓)	80 (67.7% ↓)	71 (71.4% ↓)	77 (68.9% ↓)	75 (69.7% ↓)	74 (70.1% ↓)	72 (70.9% ↓)
環境配慮製品の販売	百万円	601 (2009年)	821 (36.6% ↑)	792 (31.7% ↑)	770 (28.1% ↑)	720 (19.8% ↑)	642 (9.1% ↑)	623 (5.9% ↑)	665 (13.0% ↑)	629 (6.9% ↑)	635 (7.9% ↑)

□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 ・冷暖房の温度設定 ・不要照明の消灯 ・在宅勤務	基準年度	8,771	kg-CO ₂	目標未達
	目標	4,473	49.0%削減	2024年7月中旬より2025年春頃までは使用量増加。引続き節電に努めます。
	実績	4,735	46.0%削減	
一般廃棄物の削減 ・ペーパーレス化を進める ・裏紙を利用し、 ・出来る限り有価物にする	基準年度	650	kg	目標未達
	目標	181	72.0%削減	2024年7月中旬より2025年春頃までは廃棄量増加。引続き廃棄物の削減に努めます。
	実績	191	70.6%削減	
節水 ・水の流しっぱなしを厳禁	基準年度	248	m ³	目標達成
	目標	76.6	68.9%削減	2024年7月中旬より2025年春頃までは使用量増加。
	実績	75	69.7%削減	
環境配慮製品の販売 ・アスクルカタログ記載の 環境配慮製品に基づく	基準年度	588	百万円	目標達成
	目標	623	5.9%増加	自社の売上増、商品値上げに伴い販売額増加。
	実績	665	13.0%増加	

□環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設、遵守事項等	遵守 評価
廃棄物処理法 紙、廃プラ、缶の分別の徹底、排出量の削減		○
大阪市資源化可能な紙類の焼却工場への搬入禁止について 新聞、段ボール、雑誌、OA紙、シュレッター紙、その他の紙の焼却工場への搬入禁止		○
フロン排出抑制法 業務用エアコン2台（簡易点検）		○
家電リサイクル法 TV2台、冷蔵庫1台、エアコン3台		○
資源有効利用促進法 パソコン11台		○
消防法 消火器2台 火災報知機1台 維持・管理		○

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

□ 代表者による全体評価と見直し・指示

2024年8月1日 代表取締役 田中紳一郎

- ・環境方針 変更無し
- ・環境目標 変更無し
- ・環境活動計画 変更無し
- ・実施体制 変更無し

事業部譲渡により今期目標から自動車燃料を削除。

社員が改善の意識を持ち、環境活動の取組に対する意識の向上していることが伺える。

来期も環境負荷低減の為、全員で引き続き取り組みます。

以上